

パーティではOBなどのペナルティーを楽しく(?)支払い



河野プロがアプローチのレッスン



深谷会長から浄財を贈られ、がっちり握手する井上盲導犬協会会長(右)

親睦チャリティーゴルフコンペ 盲導犬支援へ29万円 和気あいあい

(財)日本盲導犬協会への活動支援のための、日遊協・親睦チャリティーゴルフコンペ(実行委員長・庄司孝輝東京都・関東支部長)が11月4日、千葉県野田市、千葉カン

トリークラブ野田コースで行われた。チャリティーとして29万1000円の浄財が集まり、プレー終了後にクラブハウスで行われた贈呈式で、深谷会長から井上幸彦・日本盲導犬協会理事長に手渡された。

井上理事長は「皆様のご支援を受け止めて、これからも1頭でも優れた盲導犬を育てて、社会のお役に立てていくつもりです」と礼を述べた。

コンペでは日遊協会員に加えて、メーカー、販社などの関連団体の役員、組合員など計135人が和気あいあいとプレーを楽しんだ。関連団体からの主な参加者は、里見治日電協理事長、青松英和全日遊連副理事長、中村昌勇東遊商理事長、中村泰仁回胴遊商副理事長、齊藤建夫同、木原一雄自工会理事長、大高時男P S A理事長だった。

優勝は齊藤建夫氏(回胴遊商副理事長)、準優勝は相田幸雄氏(株日進)だった。

ツアープロの河野晃一郎氏が招待された。コンペ終了後、河野プロによるアプローチレッスン、千葉カントリー専属プロによるビデオレッスンが行われた。

不正対策室会議

ロウゴト増加で討議

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は11月22日、日遊協会議室で開かれP S I O(遊技産業不正対策情報機構)の入力情報が報告され、ゴト情報、不正情報について検証、討議した。P S I Oの10月の情報入力では、オンラインネット(業界・一般からの不正情報)で一般ファンのパソコンからの入力

が昨年より84件減って129件となっている。携帯からについては、138件増の577件と順調な伸びを続けている。クロイズドネットを合わせた今月の合計は737件で、通常と同じレベルで推移している。ゴトに関しては、釘曲げや玉持ち込みなど物理的なロウゴトが増えており、その対策

の難しさなどが話し合われた。不正情報では、釘の異常、店員の行動などに対する入力が目立ってきた。

CRA仕様を明確に

日工組、11月1日から適用

日本遊技機工業組合(日工組)は11月12日、型式名に「CRA」をつける遊技機の仕様条件を取り決め、11月1日から適用(型式試験申請)したことを日遊協など関連団体に連絡した。日工組はこれまでも、いわゆる「遊パチ」と称される遊技機をCRAの型式名で製造販売してきたが、仕様条件に明確な基準がなく、各組合員の判断に委ねてきた。

今回取り決めた「型式名にCRAをつけることができる遊技機」の仕様条件の要旨は、作動確率(通常時の大当たり確率)が100分の1より大きく、かつ、すべての大当たり時における最小出玉は最大出玉の4分の1以上であること(特別図柄表示装置を有する遊技機を対象とする)となっている。

なお、遊技球等貸出装置(カードユニット)接続端子板を有しない遊技機で、本項に該当する場合は、型式名に「A」をつける。

「立入検査」協力の徹底を 推進機構が再度強い要望

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は11月17日、「立入検査への対応について（周知徹底のお願い）」と題する文書を、日遊協などホール関連社員団体に発信した。日遊協は直ちにホール会員企業に対して周知徹底を図る旨の文書を送信した。

機構がこの種の文書をホール関連社員団体に発するのは8月に続いて2回目。8月の文書では、ホールへの立入検査の際に機構検査員に対する暴言や暴力行為が見られるとして、機構の「立入検査拒否」の判断基準を示した。

妨害具体例を 指摘

今回の文書では、確信的に機構の立入検査の受け入れに抵抗、業務を妨害するホールが存在しているとして3例を挙げている。すなわち、昨年、検査員が立入の交渉中にホール責任者に突き飛ばさ



健全化推進機構の広報誌でも、指導の徹底を呼び掛けている

れた。今年に入ってホール責任者が悪質な暴言を検査員に浴びせた。さらにホール側が機構の存在を知らず、検査員の説明が信用できないとして警察に通報するという事案も発生した。機構は、「こういう行為が2度と起こらないよう、ホール関連社員団体に對して再発

防止のお願いを何度もしているが、いまだに徹底されていない。各社員団体においては所属のパチンコホールの方々にも再度の周知徹底をお願いする」と強い調子で述べている。

さる8月に示された機構の立入拒否の判断基準は、

- ① 機構検査員に対し暴言を浴びせたり、暴力に及んだりした場合
- ② 機構検査員の説得に応じず、概ね1時間を越えて立入検査に入らなかった場合
- ③ 機構の存在をそもそも認識せず、立入検査に入らなかった場合
- ④ その他の理由により立入検査に入らなかった場合

——となっている。これらの基準によって現場にいる検査員が「立入拒否」と判断した場合でも、機構の立入検査実施要領に基づき、機構審査会を開催した上で最終的な判断が行なわれる。

リサイクル推進委員会 2社を承認、43社に ワーキンググループが初会合

第51回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務

理事）は11月10日、日遊協会議室で開かれた。リサイクル選定業者として（株）昌栄（愛知県小牧市）、中部第一輸送（株）（同県蟹江町）の2社を新たに承認した。これで選定業者は全国43社となった。

今後同委員会を取り組むべき課題を協議するため6団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商）からのメンバー10人と篠原座長とで構成するワーキンググループが組織され、10月21日に初会合が開かれたことが報告された。2回目の会合ではリサイクル選定業者のうちから2社を呼び、廃棄台を処理する立場からの意見を聞くことになった。

ワーキンググループのメンバー10人は次の通り。（順不同）

- 全日遊連 ■ 天野雅之（全日遊連 業務部）
- ▽日工組 ■ 渡辺規幸（京楽産業・（株）、高島恒明（株）三洋物産）、田中芳郎（日工組主事）
- ▽日電協 ■ 慶児康昭（山佐（株））、糸永淳一（株）アリストクライトテクノロジーズ）、内田英雄（日電協業務課）
- ▽全商協 ■ 小林路子（全商協事務局）
- ▽回胴遊商 ■ 村田健（回胴遊商総務課）
- ▽日電協 ■ 福家裕之（日電協総務課）

セキュリティ対策委員会

出版社と「継続」協議へ
攻略法詐欺
キャンペーン

第49回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は11月24日、日遊協会議室で開かれ、パチンコ攻略法詐欺などの関連で協議した。

パチンコ攻略法詐欺キャンペーンを展開しているファン雑誌6社（株）笠倉出版社、（株）竹書房、辰巳出版（株）、（株）白夜書房、（株）双葉社、（株）EBC出版のキャンペーン記事の掲載状況が報告された。キャンペーン期間は8月号以降の約半年間となっており、キャンペーンの

継続について12月中旬に出版社と連絡会を開いて協議することになった。また、連絡会を構成する中の1社が発行する週刊誌が、攻略法詐欺販売会社の広告掲載を続けていた問題で、当該出版社がセキュリティ対策委員会からの申し入れを受け入れ、広告掲載を自粛したことが報告された。

攻略法詐欺相談窓口問い合わせ状況が報告された。10月、11月は6件ずつの問い合わせがあり、実害は両月合わせて8件だった。一時多かったモニター、内職関係が影を潜めているのが最近の特徴。

09年7月に窓口が開設されて以来、相談件数の累計は151件となった。その他、使用済み遊技機の動向など、機歴管理の徹底について意見を出し合った。

千葉県警から感謝状が授与されたことが、11月24日のセキュリティ対策委員会でも報告された。摘発されたのは東京・新宿に所在するパチンコ情報会社「ダイナイズパートナーシップジャパン」。

打ち子を募集して虚偽の攻略法を教え現金をだまし取った疑いで、役員、従業員、関連会社社長らが逮捕された。この事件では千葉、青森、静岡、高知の4県警が合同捜査本部を設置し、全日遊連は千葉県警から依頼を受けて情報などを提供し捜査に協力した。感謝状

について全日遊連は、「捜査協力だけでなく、全日遊連が一般ファン保護のために日頃から行っている取り組みが高く評価されたものと思う」としている。

また、全日遊連は08年6月以降、雑誌広告やWEBサイトで「攻略法販売」「会員・スタッフ（打ち子）募集・勧誘」を行っている東京都下の業者について、所在地確認調査を行い、結果をホームページに掲載しているが、調査対象業者は10月末現在、述べ183業者にのぼった。このうち掲載住所に実在していたのは21業者。残り162業者のうち101業者については

所在地に私設私書箱、電話代行、レンタルオフィスなどの代行会社があった。また、65業者は警察庁がホームページで公開している「振り込み詐欺被害者が現金を送ってしまった住所」と合致した。

中古機流通協議会

1月に検証の作業部会

第70回中古機流通協議会（委員長・金本正浩全日遊連副理事長）が11月29日、全商協会議室で開かれ、6月に運用開始して半年経過した新・中古機流通制度について、履行状況やシステム上の問題で検証することを決めた。1月に検証の作業部会をスタートさせる。

新制度は型式の同一性担保と責任所在の明確化を徹底するため、取扱主任者の事前点検確認を遊技機撤去後に行うことを前提として、従来の制度を改良した。運用後、ホール管理者の負担増が指摘されていた。9、10月の確認証紙発給状況が報告されたが、10月はAPECのための入替自粛の影響でパチンコ、パチスロとも稼働実績が通常月の半分程度にとどまった。



攻略法詐欺などが議題に上がったセキュリティ対策委員会

全日遊連に感謝状

千葉県警から捜査協力

攻略法詐欺事件に関する全日遊連の捜査協力に対して10月15日、

「社会的認知へさらに努力」強い決意の里見理事長

日本電動式遊技機工業協同組合

（日電協）の創立30周年記念式典が11月25日、東京・東京会館ロイヤルルームで開かれた。冒頭、挨拶に立った日電協・里見治理理事長は「もう30年か、あつという間だなあという気持ちです。困難なこともありました。業界、行政の方々のご指導があつて今があり、心から感謝申し上げます。30年経ちました。まだまだ社会的に認知されたいとはいえない側面もありやと思います。これから社会に認められ、信頼されるよう全力で努力



駆け付けた石原貴史衆議院議員（左）と回贈遊商・伊豆正則理事長（右）の
お祝いを受ける里見治理理事長

してまいります」と決意を述べた。

警察庁生活安全局・加藤達也保安課長は「創意工夫を生かし、努力の成果で、大衆娯楽として大きく育てられたことに敬意を表します。より安心して受け入れられるために、

射幸性や不正対策にさらに取り組まれるよう期待します」と激励した。

90人を超す来賓の中から、経済産業省・内山俊一関東経済産業局長（代理）、遊技産業健全化推進機構・伏見勝専務理事、全日遊連・

原田實理事長、石原貴史衆議院議員、平沢勝栄衆議院議員が祝辞を述べた。日電協からは深谷友尋会長が「癒しと夢を与える産業のなかで、パチスロ機は今後とも重要な位置を占める。日電協では海外からの人にも楽しんでもらう研究を始めているが、パチスロ機のほうがなじみやすい。ぜひ、その辺も留意して開発していただきたい」と挨拶した。

懇親会に移り、日電協の社会貢献に対して日本赤十字社、東京都

社会福祉協議会などから感謝状が贈られた。また、募集していたパチスロ川柳で、優秀者の表彰が行われ最優秀には、國分れいさんの「恐るべし パチスロデビュー 妻の腕」が選ばれた。

「経路確認書」を廃止 日電協、ホール5団体に通知

日本電動式遊技機工業協同組合（日電協）は11月18日、不正改造の防止と販売会社への責任所在の明確化を目的として運用してきた「遊技機販売経路確認書」を、12月1日以降発行の保証書から廃止する旨、日電協などホール5団体に通知した。

日電協は1993年から、健全化のため販売に関わったものすべてを記載する書類として「遊技機の販売経路」の書類を導入し、2000年には警察庁、各公安委員会の指導・協力で全国共通様式の「遊技機販売経路確認書」として運用してきた。しかし、現在は主

基板の取付出荷、セキュリティ性の高い「かしめ」やICタグ封印シールの導入などで遊技機のセキュリティが向上しており、また、遊技機のホールへの納品は販社を

經由せずに直送されて運送の管理が徹底されるなど環境が改善されてきたため、同確認書の持つ意味が希薄になっていくことから廃止することとした。

メダル工業会が通常総会 5事業の第22期計画承認

遊技場メダル自動補給装置工業会（メダル工業会）は11月12日、

東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開き、販売、広告・宣伝、研究開発、教育・情報、福利厚生に関する5事業からなる第22期事業計画（10年10月1日～11年9月30日）を承認した。

販売に関する事業では、「メダル自動補給システムは経営合理化、不正防止等への寄与を目的としており、さらなる器具の改良・開発、品質保持に努めるとともに、各種器具の共同販売事業を行う」としている。研究開発に関する事業では、メダル補給段階で不正防止が出来るような補給方法の研究、メダル工業会製の器具の普及、ホール経営効率化の推進方策の研究等を挙げている。役員改選で大泉政治理事長が再任された。

近畿支部役員会

入れ替え白肅など討議

近畿支部役員会が10月20日、大阪市の関西遊商会議室で開かれ、福井章支部長以下12人が出席し、報告、課題の検討を行った。福井支部長は「新遊技業法の動きがあるが、近畿支部としても意見を出してもらって、換金問題も含めて検討していきたい」と挨拶した。共生の森など環境関連、中古機流通の補助員などについて報告があり、遊技機の入替え白肅については「期間が長い」「大きい店もしんどいが、小さい店ほど厳しい」などの意見が出た。

11月5日のクリーン大阪キャンペーンには、本部から日遊協ボランティア派遣隊の白石良二総隊長以下3人を含め、支部長以下27人が参加することを確認した。

セキュリティ対策部会

第130回セキュリティ対策部会が10月8日、大阪市・難波市民学習センターで開かれ、南光昭昭部会長以下14人が参加した。事務



第130回を迎えたセキュリティ対策部会（奥中央が南光部会長）

局からの連絡事項のあと、磁石ゴト、建造物侵入で逮捕のゴト師の例などが話し合われた。南光部会長は「近畿支部でもA-NETの様式を使用して、ゴト情報を整理して皆で共有していきたいましよう」と述べた。

プロバが「社員大会」 平本直樹新社長を先頭に

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等の娯楽施設を展開するプロバグループ（平本直樹代表）が



挨拶する平本新社長

11月2日、同市の広島センチュリー121ホテルで「遊びで元気な社員大会」をテーマに社員決起大会を開いた。冒頭、さる9月20日に亡くなった平本将人代表（前日遊協会長）に黙祷が捧げられ、来賓の大久保正博日遊協副会長、グループ社員代表からお別れの言葉が述べられた。次いで開かれた社員大会で、平本直樹新社長が挨拶、脳科学の篠原菊紀諏訪東京理科大学教授が講演し、最後に社員が参加して懇親会が催された。

ホール5団体が推奨決定 「営業面積」を原単位に CO2など削減の把握に

ホール5団体（全日遊連、日遊協同友会、余暇進、PCSA）の環境実務者会議（座長・薛博夫日遊協社会貢献・環境対策委員長）は、エネルギー使用量ならびにCO2排出量の削減状況を判断するための原単位として、風営法申請書類にある「営業面積」を推奨すること

を決め、11月22日、各団体の組合員、会員に発表した。

ホール5団体が参画する環境自主行動計画では、2012年度までにCO2排出量を2007年度比で15%削減する総量削減目標を定めている。一方で、省エネ法（エネルギー使用の公理化に関する法律）はエネルギー使用量の削減状況を判断する指標として、エネルギー消費原単位（エネルギー使用量と密接な関係にある値）を使うことを義務づけている。こうした背景を踏まえてホール5団体は、エネルギー使用量ならびにCO2排出量の削減状況を把握・管理するための原単位指標として、エネルギー消費／営業面積、CO2排出量／営業面積をそれぞれ標準として推奨することに決めた。

ホール業界としての原単位決定にあたっては、業界統計をとる上で「単純」「明確」「変動の少なさ」を考慮しているが、個々の企業・店舗では省エネ努力を評価するための原単位として遊技機台数、営業総時間数、店舗容積などを採用するケースも考えられる。

中部支部

業界間提携などを討議

愛知県ゴト情報対策協議会

愛知県ゴト情報対策協議会が11月9日、愛知県遊協役員室で開かれ中部支部から8人、愛遊協から7人など17人が参加して、報告、討議を行った。メダルサンドゴト、ボタンゴト、偽造レーシートなどの報告のあと、前回の会議で出た遊技機メーカーとセキユリティー会社との提携について討議された。アンケートの結果、メーカー9社中1社のみ提携しているが、限られた範囲での内容で、メーカーがセキユリティー会社と提携し検証を行うことは難しいという意見が大勢を占めた。一時減少していたスロットのクレマンゴトが最近また出始めているのは問題であること、ゴト師を事務所まで調べる場合の注意などが話し合われた。

九州支部

211作品を展示、表彰

第3回絵画コンクール

第3回こども絵画コンクール(福岡県遊技場組合青年部会主催)の作品展と表彰式が11月14日、福岡市「ソラリアプラザ」で行われた。日遊協からは石山敬達九州支部副支部長らが出席した。今回のテーマは「夢」「未来」「ともだち」で14施設から211作品の応募があり、内容的にも充実し、主催者金本正浩理事長は、「遊技業団体は社会貢献活動を大きく取り上げ活動しています。子供に夢と

未来を持つてもらいたい、大きく羽ばたいてもらいたい」と挨拶した。来年以降も継続したい」と挨拶した。マスコミも関心を持ち、KBC九州朝日放送がテレビ放映した。

会員・業界消息

●住所変更

▽株式会社スパイキー
〒1101-0031

東京都千代田区東神田2-5-12
龍角散ビル7F

TEL03-6240-9067
FAX03-6240-9069

10月12日から

●代表者変更

▽株式会社プロバ
▽株式会社プロパックス
▽株式会社プロバジョイ

代表取締役社長・平本直樹

10月

●代表者変更

▽株式会社ジャパン・アイディ
取締役社長・上新明人

10月1日から

●代表者変更

▽株式会社ロデオ
代表取締役・才田敏浩

11月22日

●新規入会・正会員

▽幸福企業株式会社
代表者・石川昌主
北海道旭川市5条7丁目1号
▽株式会社アンビット
代表者・中澤晴彦
北海道札幌市北14条東10丁目4番16号

▽株式会社マーステクノサイエンス
代表者・村上浩

東京都新宿区新宿1-8-5
新宿御苑室町ビル7F

▽DIXEO株式会社
代表者・片地春幸

東京都中野区本町1-32-2
ハートモータービル15F

貯玉補償基金加盟状況 (2010年10月31日現在)

	店舗数	前月比
北海道	191	+2
東北	462	+1
東京	391	+13
関東	1190	+23
中部	319	+1
近畿	559	+8
中国	201	+3
四国	100	+1
九州	526	+10
全国計	3939	+62

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

パチンコ、パチスロの傾向変わらず

全日遊連は11月17日、店舗数、遊技機台数の2010年10月分を発表した。店舗数は昨年10月より186店減、200店台減続きからほんの少し持ち直している。

遊技機ではパチンコ機が1万4651台増(昨年10月291万7941台)と停滞傾向がはつきりしてきた。パチスロ機は1万5386台減(昨年10月127万8429台)と減少が1万台に入ってきた。<注>店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

平成22年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,675	22	18	105 (6)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,683	24	35	107 (14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107 (16)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97 (7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	105 (15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	11	28	108 (21)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	22	44	101 (12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,556	23	35	101 (10)	2,941,292	1,254,681	156	4,196,129
9月	11,553	26	30	94 (8)	2,938,627	1,260,324	156	4,199,107
10月	11,536	14	25	96 (13)	2,932,592	1,263,043	156	4,195,791

根代建八氏(株式会社ロデオ代表取締役社長)病氣療養中のところ11月20日死去。55歳。11月23日、札幌市北区北40条西6-3-30、麻生斎場でお別れ会が執り行われた。喪主は妻、美智子氏。

訂正:本誌11月号19ページ、電子認証システム協議会の専務理事(新任)に弘瀬清氏とあるは、広瀬清氏の誤りです。お詫びして訂正します。

DATA SPOT